

ガイドライン

静岡県卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策(2022年8月1日版)

このガイドラインは日本卓球協会が発表したガイドラインを参照して作成したものです。また、感染状況に応じて内容は改訂されていきますので、会員の皆様には常に最新版での感染症対応をお願い致します。

※静岡県卓球協会主催大会における対策 ・対応内容変更 (1-②、1-③)の項目)

1. 大会出場者、関係者への留意事項

1-① 大会は静岡県、静岡市の感染防止対策に応じた開催とする。

1-② 大会開催可否の判断基準と静岡県外居住地の静岡県卓球協会員の大会参加可否については、静岡県及び静岡市が発表している「新型コロナウイルスの感染状況や医療の逼迫状況等を評価する国のレベル分類及び本県の対応」を基準とする。判断基準は以下の対応とする。

「国評価レベル4」	原則、大会の開催は中止とする。
「国評価レベル3」	大会開催可否については協議の上で決定する。 (静岡県外居住地の会員の参加可否含む)
「国評価レベル2」	原則、大会は開催する。但し状況が急激に変化した場合は、協議の上で決定する。(静岡県外居住地の会員の参加可否含む)
「国評価レベル1」 「国評価レベル0」	大会は開催する。

※「国評価レベル」に関係なく、「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」が発令された場合は大会及び行事開催は中止とする。

※全ての「国評価レベル」において、感染拡大防止対策を実施した上での大会開催とする。

大会開催の可否や大会参加制限の開始日と解除日については、静岡県卓球協会内で協議し、決定する。

1-③ 大会開催日の1週間前から当日の朝に、

- ・平熱を超える発熱(おおむね 37.3度以上)
- ・咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
- ・倦怠感(だるさ)を感じる。
- ・嗅覚、味覚の異常

などの症状があった場合には大会に参加しない。また大会開催日2週間から1週間前までに上記症状があった方は、特に自分の体調を確認した上で参加する事。

1-④ 大会参加者を把握する為、大会当日の受付時に名簿を配布するので、参加者氏名、年齢、住所、連絡先を記入して大会主催者に提出の事。(高校生、中学生の大会は除く)

1-⑤ 大会(講習会)会場へは、来場者全員マスクを着用しての入場とする。

1-⑥ 大会会場への入場前に、入場者は体温計による検温と手指消毒を実施する。
検温で「37.3度」以上の測定値となった場合には会場への入場を制限する(見学も不可)。
また高校生以下については学校登校時の対応と同様、自宅で検温し保護者の承諾(押印)を得た書類等を提示し、検温したと見なす方法を採用する場合もある。

1-⑦ 当面の間、会場入場者は大会役員と監督、選手のみとし無観客とする。但し高校生以下の大会は、顧問(副、外部顧問含む)の先生、学校が許可した者(外部指導者及び保護者で、IDカードを所持している者)のみ入館を認める。また選手応援のみで来られる関係者の入館は制限する。

1-⑧ 更衣室については密にならないよう各自が自重して使用する事。目安としては5名以上にならない様に各自配慮する。シャワー室は使用しない事。

1-⑨ 更衣室、トイレ等使用後も含め小まめに手洗いをする事。各自においては自前のタオルを持参し、自分以外の人と、タオルの貸し借りが無い様にする。

1-⑩ 2時間に1回程度、会場の換気をする。(試合の途中ででも中断する。)

1-⑪ 観客席は隣接を避け、一定の間隔を空けて使用する事。(1席または1人分空ける。)

1-⑫ 中学生の大会については、静岡県教育委員会から市内の各中学校に宛てた通達の内容も考慮し、感染防止対策の内容を追加出来る事とする。追加する項目内容については静岡県卓球協会内の中学生部会が中心となって立案し、同協会の承認を得て市内各中学校へ連絡する。

1-⑬ 小学生が中学生の大会に参加する場合は、「1-⑫」で採用された感染拡大防止対策も含めて、実施する。追加対策内容については小学生が所属する各団体の責任者へ事前に連絡する。

2・ 競技に関する事項

- 2-① 大会当日の朝、開会式前に行っている会場での練習は、主催者が許可しない限り中止とする。
- 2-② 競技中は出来るだけ大きな声を出さないようにする。
- 2-③ ゲーム開始、終了時の選手同士または味方ベンチ選手との握手、タッチは行わない。
- 2-④ ゲーム中を含め、卓球台で手を拭いたりしない事。
- 2-⑤ 自分がゲーム中以外はマスクを着用する。(審判時もマスクを着用する。)
- 2-⑥ 団体戦でベンチに入る選手同士の隣接は避け、一定の間隔を空ける事(目安は1メートル以上)。

3・ 大会終了後

- 3-① 大会参加終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、静岡市卓球協会事務局に対して、速やかに濃厚接触者の有無等も含め連絡する事。
- 3-② 3-①の連絡を速やかに行える様、参加チームの責任者または当日のリーダーは、自チームの当日の参加者(自チーム関係者全て)を念のため把握しておく事。

4・ 自身が感染または濃厚接触者になった場合の対応

- 4-① 大会に申し込んだ選手が、新型コロナウイルス感染陽性者または濃厚接触者になった場合は大会への参加を辞退する。また当事者が所属するチームの関係者(選手、顧問、副顧問、外部顧問、外部指導者、コーチを含む)も大会への参加を辞退する。
但し上記関係者で、当事者が所属するチームではあるが、感染または濃厚接触者と確認される2週間前から当事者及び当事者と一緒にいた関係者との接点が無い場合に限り、大会には参加出来るものとする。
- 4-② 大会に申し込んだ選手の同居する家族や身近な人に感染が疑われる人がいる場合、自分も感染している可能性があると考え、大会への参加は辞退する。
- 4-③ 新型コロナウイルス感染陽性者は、医療機関で治療(検査も含む)し、療養期間を経て完治してから大会に参加する事が出来る。
- 4-④ 新型コロナウイルス濃厚接触者は保健所指導の下、健康観察期間を経て異常無しと判定されてから大会に参加する事が出来る。
- 4-⑤ 同居する家族や身近な人に感染が疑われる人がいた場合は、自分自身に異常がない事が判定されてから大会に参加する事が出来る。